

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第6回理事会 開催日：58年2月22日。出席者：松下会長ほか43名。

1. 昭和57年度事業報告，収支決算ならびに財産目録，昭和58年事業計画，収支予算の件

本件は会計分科会，企画委員会の審議を経ており，事業と会計に分けて説明があつた。一般会計，別途資金会計，特別会計いずれも原案通り承認された。ただし総会に報告する決算額は2月末日で締切つた後に確定するため，その内容は会計分科会に一任することになった。

2. 昭和58年度渡辺義介賞，西山賞，服部賞，香村賞，渡辺三郎賞，俵論文賞，渡辺義介記念賞および西山記念賞授賞者決定の件

表彰選考委員会が選定した候補者について慎重審議の後，全員授賞者に決定した。

企 画 委 員 会

第8回委員会 開催日：58年2月21日。出席者：佐伯委員長，ほか22名。

1. 会員アンケートの結果について

①鉄と鋼②講演大会を対象に23項目を設け無作為に1876名を抽出してアンケートした結果59%の回答を得，両事業とも肯定された。しかし貴重な内容であり今後のあり方については編集委員会にお願いすることになった。

2. 70周年事業について

昨年12月に小委員会を設け創立70周年（昭和60年）に行うべき事業の検討を行っている。諸事業は今後検討するが記念出版として①「鉄と鋼」の記念特集号の刊行②協会史の出版（51年～70年の20年間を対象）の2点がまず考えられる。準備の事もあり企画委員会として承認した。

編 集 委 員 会

第6回編集運営委員会 開催日：58年2月18日。出席者：加藤委員長，ほか16名。

1. 第46回俵論文賞の選考を行つた。候補として推薦された論文45件を対象に検討し，4件を受賞論文として選出した。

第11回和文会誌分科会 開催日：58年2月4日。出席者：加藤主査，ほか21名。

1. 17件の論文審査報告がなされ，掲載決定8件，照会后掲載可1件，修正依頼1件，その他7件であつた。

2. 「鉄と鋼」第69年第8号（6月号）に論文13件，技術報告1件，解説1件掲載決定した。

第11回欧文会誌分科会 開催日：58年2月18日。出席者：大森主査，ほか11名。

1. 12件の論文につき審査報告がなされ，掲載可2件，照会后掲載可3件，修正依頼4件，返却3件であつ

た。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，5件の研究論文と1件のTechnical Reportを勧誘することとなった。

特 定 基 礎 研 究 会

第2回石炭のコークス化特性部会 開催日：58年2月3日 開催地：NK高輪クラブ。出席者：木村部会長，ほか32名。

1. 一般炭のキャラクタリゼーション

(1) 低石炭化度炭の組織分析法の検討

(2) 一般炭を含めた石炭熟物性値の測定法の開発

2. コークス化機構の基礎研究

(1) 乾留時生成物分析による解明

(2) 機器による乾留機構の解明

(3) 熱分解機構の基礎的解明

3. コークス破壊機構の解明

(1) ミクロ的観点からの基礎研究

(2) マクロ的観点からの基礎研究

標 準 化 委 員 会

ISO 鉄 鋼 部 会

第22回SC7分科会 開催日：58年1月31日。出席者：手塚主査，ほか11名。

1. TC17 東京総会報告

2. 今後の活動方針について

3. DIS 5949 について

第34回SC9分科会 開催日：58年12月20日。出席者：岡主査，ほか7名。

1. ロンドン会議の報告

第32回TC5分科会 開催日：58年1月31日。出席者：日下部主査，ほか5名。

1. ISO 2037 の寸法

2. ISO 559 の改正要否の検討

3. ISO 4200 の推奨寸法シリーズのフランス修正案の検討

4. モルタルライニング鋼管規格原案に対する各国コメントの検討

5. 熱間ホローセクション原案に対する各国コメントの検討

第22回データシート部会 開催日：58年2月2日。出席者：田中部会長，ほか14名。

1. データシートシリーズ4（構造用鋼板の破壊靱性値）

2. データシート部会の今後の進め方

第71回特殊鋼分科会 開催日：58年1月21日。出席者：手塚主査，ほか14名。

1. JASO 改正に関する自工会情報
2. 快削鋼について
3. B鋼について

.....

- 第 35 回鋼質判定試験方法分科会** 開催日: 58年 1 月 31日. 出席者: 手塚主査, ほか 11 名.
1. JIS 改正原案の最終審議
 2. 58 年度の活動予定について

鉄鋼標準試料委員会

- 第 1 回常任委員会** 開催日: 58年 1 月28~29日 開催地: 日本鋼管熱海寮. 出席者: 川村委員長, ほか14名.
1. 標準値の決定
 2. JSS 炭素鋼シリーズ高純度鉄の極微量成分の表示方法
 3. JSS 炭素鋼シリーズ高純度鉄ならびに JSS 鉄鋇石シリーズ酸化鉄の極微量成分の定量法
 4. 素材調達
 - (1) 偏析調査結果 (2) 素材製造進捗状況
 5. 標準試料番号の付け方の一部改正について
 6. 標準試料の譲渡について
 7. 企画グループ報告
 - (1) 年間頒布量の推移 (2) 昭和 58 年度製造計画(案) (3) PR資料作成
 8. 標準試料委員会活動計画
 9. その他

鉄鋼基礎共同研究会

- 第 11 回融体精錬反応部会** 開催日: 58年 1 月24日.

Short Course on Injection Metallurgy

- 期 日: 1983 年 6 月14日, 15日
 場 所: Luleå, Sweden
 主 催: MEFOS
 申込締切: 1983 年 5 月 15 日
 申 込 先: 下記宛に直接 registration form をお送り下さい.
 MEFOS
 Box 812
 S-951 28 LULEÅ (Sweden)
 (Phone) +46 920 556 40
 (Telex) 80 482 MEFOS S
- その他: Programme, registration form をご希望の方は下記宛にご請求下さい. コピーをお送りします.
- (社) 日本鉄鋼協会 国際課
 (電話) 03-279-6021

開催地: NK 高輪クラブ. 出席者: 森部会長, ほか 28 名.

1. 研究発表 7 件
 - (1) インジェクション 3 件
 - (2) スラグ-メタル反応 3 件
 - (3) 上底吹転炉吹錬法 1 件
2. その他

.....

第 15 回鉄鋼材料の摩耗部会 開催日: 58年 1 月28日
 出席者: 木村部会長, ほか 19 名.

1. 研究発表
 - (1) 熱間圧延におけるワークロールの黒皮生成について
 - (2) 熱間圧延バックアップロールの摩耗に関する使用実績調査
 - (3) 最近の冷間圧延用ワークロール
2. 摩耗試験に関するアンケートについて
3. ロール摩耗に関する今後の研究の進め方

.....

第 9 回連続铸造における力学的挙動部会

開催日: 58年 2 月 1 日. 出席者: 森部会長, ほか20名.

1. 研究発表
 - (1) 高温割れにおける液膜の挙動
 - (2) 軽圧下法による鋳片変形挙動と内質
 - (3) 連鋳スラブにおける表面割れ疵の改善
 - (4) 炭素鋼連鋳スラブの高温延性および変形抵抗
2. 特別講演
 演題: Fe-C 包晶凝固について
 講師: 北海道大学工学部金属工学科 高橋忠義教授

An International Conference on New Developments in Stainless Steel Technology

- 期 日: 1984 年 (ASM's 1984 Metals Congress 中に開催される)
 場 所: Detroit, Michigan, U. S. A.
 主 催: ASM
 セッション: new alloys, new applications, processing practices, welding and fabrication procedures, fundamental research, physical metallurgy を扱う 8 セッションから成る.
 アブストラクト: 1983 年 6 月 1 日締切
 アブストラクトの送付並びにお問い合わせは直接下記宛にお願いします.
 Mr. R. A. Lula (or Dr. Allen G. Gray)
 C/O Technical Divisions
 American Society for Metals
 Metals Park, Ohio 44073
 U.S.A.